



「かがやく、その瞬間」

「太陽の日がかがやく」、そんな日が多くなってきた5月。また、天気の良い夜になれば、「月がかがやく」ともいう。

このことから、かがやくとは、自らが光を発して輝く場合と、他の光を反射して輝く場合があるようだ。



(イヌツゲの花 約2~3mm 宮崎市 2023.5.3)

上の写真、イヌツゲの花を見たことがあるだろうか。わずか、2~3ミリほどの花である。気を付けてよく見ないと、花なのかわからないほどである。

その小さな花芽や花が所狭しと言わんばかりに咲き誇る様子を見ると、小さな白いかかがやきを自ら放っているように見える。

この花が咲いた後のイヌツゲの果実は割れずに黒く熟していく。



(夕焼け 宮崎市小松 2023.4.30 18:53)

いつの間にか、昼間は長くなり、4月最後の日の夕焼けは、夜7時前で上の状況。美しい！こんな夕焼けなら何度でも見た

い。まさに、自らかがやいている！



(アザミの葉・総苞 宮崎市 2023.5.6)

アザミは葉や総苞(つぼみの部分)に鋭いトゲがあり、さわるととても痛いという印象がある。アザミは、スコットランドの国花。このトゲによって外敵から国土を守ったとされ、花言葉は「独立」「報復」「厳格」「触れないで」だそう。スコットランドのかがやきだ。(Wikipedia「アザミ」より)



(赤いつるバラ 自宅 2023.4.30)

「痛い」と言えば、バラも痛い。花の女王であるが、扱いに気を付けないとけがをする。

我が家のつるバラは、冬の間はかなり刈り込んだため、どうなるかなと心配していた。ごらんとおり、元気に咲いた。

見事にかがやいている！その瞬間だ！